

市長がご両親を訪問、激励

松橋恵美子さん失そうから14年が経過

北朝鮮による拉致疑惑が持たれている松橋恵美子さん（合川地区三里・当時26歳）が消息を絶つてからちょうど14年が経過した1月15日、岸部市長が恵美子さんの自宅を訪問、父の要吉さんと母のチャヤさんを激励しました。ご両親を訪問した市長は「心中お察しします。新たな情報などはありませんか」と問いかけると、両親は「何もありません」と言葉もないようです。同席した支援者の福岡博さんが「こうして訪問していただいたことが何よりの励みになります」と代弁していました。北朝鮮に拉致された日本人を救出する全国協議会秋田の会の代表でもある福岡さんは3月に能代市文化会館で、元北朝鮮工作員で脱北者の安明進（アン・ミョンジン）さんを迎え、公開セミナーを開催する予定や拉致された状況を検証してもらうことなどを明らかにしました。



△平成4年1月15日、祖母に「鷹巣に行つて来る」と言い残し、本人所有の日産マーチで外出したまま行方不明。3日後に車が能代市落合浜で発見され、無施錠の車内には恵美子さんのコートや財布、免許証などが残っていた。

■松橋恵美子さんと失そうの状況

おとな相手でも負けないぞ

小学生棋士・伊藤幸論くん

恒例の第10回北林杯新春囲碁大会が1月2日、阿仁川あゆセンターで開かれ、有段者クラス42人が参加し、熱戦を展開しました。

3〜4段のクラスに出場した伊藤幸論くん（米内沢小6年）は、百戦錬磨のおとなを相手に見事準優勝に輝き、周囲を驚かせました。伊藤くんは、5歳のときから親戚の澤木吉宸・静子夫妻に囲碁の手ほどきを受け、めきめきと上達。4年生からは、プロ棋士への登竜門とされる全国少年少女囲碁大会（日本棋院主催）に県代表として3年連続で出場し、一昨年はベスト16に進出していきます。今年の目標は「4段に昇段すること、全国大会に出場することです」と決意を述べ、碁盤に向かいました。今後も活躍が期待されています。



「碁碁が大好きです」と練習に励む伊藤くん



1・2年生183人が高齢者住宅などの除雪作業を実施

若い力が地域に貢献

合川高校・除雪ボランティア

合川高校（工藤元博校長）の除雪ボランティアが1月19日、合川地区の高齢者世帯や、消火栓周辺などで行われました。

この取り組みは、身近なボランティアを体験し、勤労の喜びや満足感を知り、防災や高齢者福祉について考える機会にしようと、毎年行っているものです。例年は2月に行われていましたが、今年は大雪の影響で繰り上げて実施されました。生徒たちは、スコップやスノーダンプで、老人宅の入り口や軒下など、懸命な除雪作業で汗を流しました。

そのほか、数多くの除雪ボランティアが活躍しており、今後も各団体等で高齢者世帯などを中心に、除雪作業が展開される予定です。



精神を鍛えるには絶好の季節、寒さに負けずにがんばる参加者たち

心技体の修得をめざす

北林道場で恒例の「寒稽古」

米内沢川向の北林道場で新春恒例の「寒稽古」が1月13日から15日に開かれ、大館北秋田地区のスポーツ少年団や中・高校生約150人が参加し、柔道の練習に励みました。

この寒稽古は、夏に行われる土用稽古と同じく、心身の鍛錬を目的に、道場が開かれた平成10年7月以降毎年実施され、今年で8回目を数えます。

最終日の紅白試合は父母らが応援する中、白熱した試合を展開。凛とした空気が張り詰める道場に気合の入った声が響きました。

試合後は、中・高校生らによる餅つきが行われ、参加者にお汁粉が振る舞われ、今年の活躍を誓い合いました。

雪田に苗を植え、豊作を祈願

J A 鷹巣町青年部が雪中田植え

稲作の豊凶を占う小正月行事「雪中田植え」が1月15日、大太鼓の館前で行われました。農家が仕事始めの儀式として水田に見立てた雪の上に、稲わらや豆がらを混ぜた「苗」を植え、一年の作柄を占うもので、2月1日に稲刈りが行われ「稲」が直立していれば不稔、倒れていけば倒伏を意味し、それぞれ凶作、たわわに実った稲穂のように傾いていれば豊作、というお告げが出るとされています。この行事は、昭和58年に篤農家の故・高橋佐一郎さんが復活させ、その後、昭和63年から旧綴子農協青年部が遺志を継いで「再復活」、現在は、J A 鷹巣町青年部（九島敏昭部長）が継承しているものです。



特設した雪田に昔ながらの装いで苗に見立てた稲わらなどを植え付け、豊作を祈願

第2の大斗、小林を目指せ

森吉山スキー大会・大館北秋田中学校スキー大会

県スキー連盟公認ドワガリウム杯第18回森吉山スキー大会・第58回大館北秋田中学校スキー大会が1月7・8日の2日間、阿仁高津森クロカンコースを会場に開催されました。初日の開会式では、佐藤修助助役が「この大会を足場として数多くの名選手を送り出している。トリノ冬季五輪に出場が決まった高橋大斗・小林範仁選手に続くように頑張ってください」と、激励のあいさつをしました。

今シーズンの前哨戦とあって選手たちは、時折吹き付ける吹雪の中を厳しい練習の成果を発揮して力走しました。また、コース沿いに陣取った父兄や友だち等の大きな声援を受け、熱戦が繰り広げられました。



小学生159人、中学生32人がエントリーし、吹雪の中を力走したスキー大会